

左足の薬指に腫れと痛みがあります。医師に「関節がなくなり、骨同士がこすれている」と言われました。採血検査の結果は正常なのですが、散歩をすれば左足首まで痛くなります。歩けなくなるのではと心配です。アドバイスをお願いします。(75歳、女性)

足の指の痛み



森本将太医師

足の指(足趾)の腫れや痛みを訴えて受診する患者さんは非常に多くおられますが、診断や治療に難渋することは少なくありません。外傷歴が

まずは検査で原因特定を

みきました。エックス線検査で関節裂隙(関節の隙間)の狭小化や骨棘(骨のとげ)の形成、軟骨の下の軟骨下骨の硬化などが見られれば疑われます。

関節リウマチは多関節に炎症を起こす全身性疾患ですが、初期では単関節で発症することもあります。診断では、

あります。採血検査で炎症反応の上昇を認めることが一般的ですが、足の指に発症した場合も全身の炎症反応を反映する数値が正常となることも少なくありません。疑わしい

ときは、エックス線検査、採血に加えて、MRIや骨シンチグラフィ、生検などで精査する必要があります。

なく腫れや痛みが出現する疾患として考えられるものは変形性関節症、関節リウマチなどの炎症性疾患、骨髄炎、しもやけ(凍瘡)などが挙げられます。

一般的な採血項目に加えてリウマチ因子や抗CCP(シトルリン化ペプチド)抗体なども検査する必要があります。

しもやけは寒冷刺激による微小血管の循環障害と、続発する炎症性変化によつて発症すると報告されています。足の指は好発部位で、女性に多いのも特徴です。腫れや痛みに加えて暗紅色から紫紅色の色調変化、かゆみを伴うことが特徴的です。

変形性関節症は関節内の軟骨が変性・摩耗し、関節内に炎症が起き、関節に腫れや痛

骨髄炎は骨髄内に病原体が侵入し炎症を起こした状態です。多くは細菌が原因となつて発症しますが、まれに真菌(カビ)が原因となることも

治療法は病態によつて異なります。原因を特定することがその決定に最も重要であるため、まずは原因の精査を行つてもらつていただくことをお勧めします。

(兵庫県整形外科医会、森本将太||西宮市、兵庫医科大学病院)
◇第1、3、4日曜に掲載
します。